

シクラメンの底面給水栽培では鉢の深さが品質を左右する

福島県農業総合センター 作物園芸部花き科

1 部門名

花き - シクラメン - 作型・栽培型、水管理・水分制御

2 担当者

山口繁雄・矢島 豊・大河内 栄

3 要旨

シクラメン栽培において、かん水にかかる労力は大変大きく、規模拡大の妨げになっている。

そこで、様々な底面給水栽培の中でも、かん水ムラが少なく非常に省力的で、他の自動かん水方式よりすぐれているといわれているエブアンドフロー方式で栽培を行ったときの、シクラメンの品質に及ぼす影響について検討した。

- (1) 底面給水は、上部かん水と比較して開花数や葉数に差はないが、株張りや葉面積が大きくなりすぎる傾向がある(表1)。
- (2) 底面給水に用いる鉢が深いと、葉や株張り、葉重が大きくなりすぎ、また、開花数や葉数が少なくなる(表2)。
- (3) 根は、浸水深が深いと重くなり、給水時間が長いと軽くなる。
- (4) 浸水深、給水時間の違いは、地上部の品質にあらわす影響は少ない。
- (5) 以上より、エブアンドフロー方式の底面給水栽培は、上部かん水栽培に比較して葉が大きくなりやすい。鉢が深いと、株張りや葉が大きくなり、開花が少なくなる。等の欠点がある。
しかし、浅い鉢を用いることで開花数、葉数を確保しながらコンパクトに仕上げることができる。

表1 かん水方法、頻度及び培土と品質の関係

方法	頻度	培土				
部位	底面	上部	毎日	隔日	赤土	ピート
株張り	大	小				
葉面積	大	小				
葉重			重	軽		
塊茎重			軽	重	軽	重
根重			軽	重	軽	重

表2 鉢の深さ、浸水深及び給水時間と品質の関係

鉢	深	浅	浸水深	深	浅	給水時間	長	短
株張り	大	小						
開花数	少	多						
葉数	少	多						
葉面積	大	小						
葉重	重	軽						
塊茎重			重	軽				
根重			重	軽	軽	重		

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成18～20年度福島県農業総合センター試験成績概要(2006～2008)